

かしそく新聞

～訪問診療 編～

「かかりつけ医」として在宅療養をサポート致します！

【認知症の治療に関して③】

【現在のアルツハイマー型認知症の中核症状に対する治療薬 ～②からの続き～】

●アルツハイマー型認知症以外にも、レビー小体型認知症や血管性認知症・前頭側頭型認知症等の認知症もありますが、血管性認知症・前頭側頭型認知症には上記薬剤は基本的に使用できませんが、周辺症状であるBPSDに対する治療薬はありますので、お気軽にご相談ください。

【非薬剤療法に関して～「みんなの介護」から一部抜粋～】

●①運動療法：20分以上の有酸素運動。②回想法：懐かしい写真や音楽、思い出などを誰かに話す。③音楽療法：過去に流行した歌の歌詞や楽曲を聴くことは、当時の出来事を思い出すことにもつながり、脳に刺激を与えることができます。④アニマルセラピー：犬や猫などの動物に触れることで、表情が豊かになり、コミュニケーションの機会が増える効果を期待できます。⑤脳トレ：計算問題や漢字の読み書き、あるいは音読などに取り組んで脳に刺激を与えるのが目的です。前頭葉機能の改善により、注意・集中機能の改善が期待できます。⑥美術療法：絵を描くことや造形物をつくることなどを通して五感を刺激し、認知機能の維持および改善を図る療法です。創作活動をするには、自分の感性に働きかけることやイメージを膨らませることが必要になるので、脳の活性化につながります。⑦園芸療法：季節の変化を感じさせてくれ、日々育っていく植物は心地良い存在。



(※中核症状と周辺症状(BPSD)表は「みんなの介護」より引用)

【駒形清則医師(認知症サポート医) ④に続く】

かつしか心身総合クリニック

～編集後記～スタッフのつぶやき～

☆「中秋の名月」が過ぎました。以前住んでいた台湾では、「中秋節」といって、なんと家族や知人とバーベキューをする風習があります。家の玄関先に網を並べ、肉や野菜を焼くのです。「そんなはずはないだろう」と思い、大学から歩いて帰ってみると本当でした(笑)。スターバックスなどではオリジナル月餅が売られ、スーパーに行くと大きな柚子(ようず)がたくさん並んでいます。これは日本のいわゆる柚子(ゆず)とは違い、甘いポメロのような食感で、ひとつペロリと食べてしまうほどおいしい柑橘類です。(K)

医療法人財団ファミーユ

かつしか心身総合クリニック

〒125-0041 葛飾区東金町 1-41-1 桜井ビル 2階

① ☆外来：心療内科＝永井斐子院長

内科＝駒形清則医師

② ☆訪問診療

内科＝駒形清則医師、駒形明紀医師 精神科＝米谷充医師

神経内科＝西岡健弥医師、平井健医師

※詳しくはホームページをご覧くださいか、お電話にてお問い合わせ下さい。

電話 03-3627-0233